

# 万博 Q & A



# 万博 Q & A 「そこが知りたい！」



**海宝がお答えします！**

みなさんこんにちは！ ぼく、上海万博のイメージ大使・海宝。前号の万博Q&Aが大好評で、ぼくのところには、さらに多くの質問が届いたよ。今回もぼくが、みんなからの質問にわかりやすく答えるからね。みんなも上海万博のことを多くの人に紹介してね！

**Q：上海は、いつ2010年の万博主催権を獲得したのですか？**

2002年12月3日に獲得しました。

**Q：中国は、いつ国際展覧会のメンバーになったのでしょうか？**

中国は1993年5月3日に国際展覧会条約に加入し、46カ国目のメンバーとなりました。国際博覧会事務局（BIE）に加入後、ずっと中国国際貿易促進委員会が中国政府を代表し、国際博覧会事務局の各業務に参加しており、責任を持って国際博覧会事務局の業務連絡を進行しています。

**Q：新生中国が万博の舞台に帰ってきた後に建設した、最初の中国館は来場者に何を展示してみせたの？**

1982年5月1日から10月31日、「エネルギーは世界を推進する」というテーマの万博がアメリカのテネシー州ノクスビルで催されました。中国館では、太陽エネルギーを利用した温水器、釜、航路灯、メタンガスの利用、また各種工芸品などが展示されました。その中で、新しいエネルギー技術や、万里の長城のレンガ、秦の時代の兵馬俑、伝統工芸美術品が、万博におい

てセンサーションを巻き起こしたのです。

**Q：2005年の愛知万博における中国館にはどんな特色がありましたか？**

2005年の愛知万博のテーマは「自然の睿智」とされ、愛知県で開催されました。中国館の展示品は豊かな理念に富み、細部にわたり精彩さを欠くことなく、人を魅了しました。中国館は「自然、都市、調和―生活の芸術」をテーマとし、生命の樹、華夏（中国の古称）文明の旅、紫檀齋（書齋）、水晶の映写ホール等の展示部分を通して、中国哲学の中の素朴でありながら深遠なる「天人合一（人と自然との調和）に帰する」という思想を体現しました。万博期間中、中国館は570万人もの来場者を迎え入れました。

**Q：今年、スペインのサラゴサ万博で、中国館は何を展示したのでしょうか？**

サラゴサ万博において、中国館の出展面積は1200平方メートルに達し、万博参加国の中でも面積が最も大きい展示館の一つでした。中国館は、「人と水―調和への回帰」をテーマとし、「水育中国」、「水利中国」、「水文中国」、「人と水―調和への回帰」など4つの展示部分に分かれ、交互

式多媒体放送のシステムや、デジタル合成バーチャルリアリティ装置などのハイテク技術を通じて、人々に5000年の文明を有する中国、中国人の治水工事や水利用の歴史、成果と経験を展示し、中国の水の智慧を表現しました。

**Q：「すべては万博に始まる」という有名なスローガンがあるが、何故、このように言われるのですか？**

万博は人類の物質文明と精神文明を大成した世界的イベントであり、万博開催ごとに、科学技術、文化芸術、建築と生活など各方面におけるすべてが、時代の発展を導き、後世に物質と精神の財産を残しました。その影響は、今日にも引き継がれています。万博に関連する書籍の中で、万博

はいつも文明の駆伝、世界の経済、科学と文化のオリンピックと呼ばれているのです。なぜなら、いつでも万博は時代の最先端の文明成果や、最新製品や概念が集まるからです。すべては万博に始まる。とは、まさに人々の万博に対する心からの賞賛なのです。

**Q：初期の万博では、あらゆる展示エリアがすべて箇所の展示館内に集中して存在していたの？**

初期の万博では、1851年のロンドン万博、1853年のニューヨーク万博、1855年パリ万博、1862年のロンドン万博、1867年パリ万博を含め、すべての展示エリアが1棟の建物内に集中させる方式が採用されていました。

**Q：いつの万博から、分類された展示館が出現し始めたの？**

1873年のウィーン万博が工業館、機械館、農業館、芸術館を建設しました。以降の万博では数多くの分類されたパビリオンが出現しました。

**Q：いつの万博から主催国の国家館設立が始まったの？**



**Q：いつの万博から初めて企業館が出現したの？**

1933年シカゴ万博が当時の大企業に門戸を開き、ゼネラル・モーターズ、クライスラー、シアーズ百貨店、ウェスティンダハウス・エレクトロニクス、ウィルソンなどの各社が展示館建設の許可を次々と取得しました。企業館は未曾有の勢いで、万博の舞台に踊り出て、それ以降からこれまでの各回の万博の中で、不可欠な構成要素となったのです。